

## 第14回青梅市公共交通協議会議事要旨

日 時 平成26年10月29日（金）午後3時00分から午後5時01分まで

会 場 青梅市役所201・202会議室

出席委員 16名

井上会長、轟座長、松岡委員、志村委員、眞子委員（代理）、黒田委員、田中正委員、秋山委員、蛭間委員、古屋委員、泉委員、中村委員、尾澤委員、田中堅委員、佐野委員、佐々木委員

傍聴者数 3名

配付資料 資料1 協議会規約等改正について  
資料2 平成25年度決算報告について  
資料3 基本計画進捗状況について  
資料4 青梅市公共交通ガイド改定について  
資料5 サイクル&バスライドについて  
資料6 居住者MMについて  
資料7 公共交通空白地域等実証補助について

### 議 事

#### 1 開会

（会長によるあいさつ）

#### 2 自己紹介

（各委員によるあいさつ）

#### 3 協議事項

##### （1）協議会規約等改定について

###### ○ 座長

「協議事項(1)協議会規約等改定」について、事務局より御説明願います。

###### ○ 事務局

（資料1にて、協議会規約等改定について説明。）

###### ○ 座長

協議会規約等改定について、質問はありますか。

- 発言なし -

特にないようですので、議決を取りたいと思います。

- 「異議なし」の声 -

特に反対の方もいないようですので、協議会規約等改定について承認いただきました。

##### （2）平成25年度決算報告について

###### ○ 座長

「協議事項(2)平成25年度決算報告」について、事務局から御説明願います。

###### ○ 事務局

（資料2にて、平成25年度決算報告について説明。）

- 座長  
引き続き、監査報告をお願いします。
- 委員  
(資料2にて、監査報告について説明。)
- 座長  
決算報告および監査報告への質問はありますか。  
- 発言なし -  
特にないようですので、議決を取りたいと思います。  
- 「異議なし」の声 -  
特に反対の方もいないようですので、平成25年度の決算について承認いただきました。
- (3) 基本計画進捗状況について
  - 事務局  
(資料3にて、基本計画推進状況について説明)
  - 座長  
この成木地区の動きは初めてのケースと言うことで、少し注視してサポートしていきたいと思っております。今回アンケートということで実態を探るということを中心に勉強会のような形をされていて、第4回(10月6日)で今後の方向性についてという議論をされているかと思うのですが、この中身を少しご紹介いただければと思います。
  - 事務局  
第4回のこの検討委員会の中では、今後どのようにしていったらいいかということを中心にご協議をいただいております。そうした中でどの程度の本数が必要であるとか、どういう経路で運行した方がよいとか、そうしたところもご議論がございました。また、その運行する曜日等についても、平日だけで良いのか、日曜祝日も含めた方がいいのかといった議論もなされたところでございます。今後は、今回のこの議論をまとめる中で、実際に地区でこうした運行形態、運行ルートがいいということについて、事業者等にも話を打ちかけながら協議を進めていこうという方向性が出されたところでございます。
  - 座長  
事業者さんを交えて検討を深めていきたいというご意向があるということかと思えます。そのほか何かございますでしょうか。
  - 委員  
一点質問ですが、どのくらいのスケジュール感でやっていくことになりますか。大体いつごろ方向性を出すのか、今年度なのかまた2年ぐらいかけてやるのか、今2か月に1回くらい議論されているかと思うのですが、おおよそいつごろまでに方向性を打ち出すというような、決まりはございましたか。
  - 事務局  
現在、正直なところ参入していただける事業者さんを探しているという状況でございます。できればなるべく早く話を進めたいというなかで、今年度内に事業者さんについて、何社か手を挙げていただけるようなところがあれば、そこに入っていただいて、基本的にどのようなルートでどのような運行形態をとっていくというようなところを決めていきたいと考えてご

ございます。運行については、いろいろと条件整備があると思いますので、そのあたりは来年度にかけて煮詰めて行きたいと考えております。

○ 座長

そのほかいかがでしょうか。ではお願いいたします。

○ 委員

資料7の所で、質問というか提案を含めてさせていただこうと思っていたのですが、この会で成木地区の10名くらいが出席していると書いてありますけれど、これは成木地区の方だけが出席しているのですか。小曾木とか富岡とかも含めて、バスが少ないところ共通の課題があると思いますが、そういう地区の自治会長さん等の出席がないのかということと、実は資料7で言おうと思っていたというのは、その最後にお話が出ていましたが、テレビで見たのですがNHKのクローズアップ現代というのですか、その26年5月12日の番組の中で、これは長崎県北松浦郡佐々町というところで、介護施設の車が空いている時に、スケジュールが組みあがっているみたいなのですが、それで町の中を運用しているというような番組だったのですけれど、そういうことも資料7のなかで言おうと思ったことも含めてですが、事業者を探しているというのはそういうことも含めているのですか。

○ 座長

今2点いただきましたが、まず検討委員会の枠組みというか範囲についてと、運行形態はいろんなことが考えられると思いますが、どこまで広げられるのかということか、考えているのかについてお願いいたします。

○ 事務局

始めに今回の委員会でございますが、この成木地区の委員会におきましては成木地区の1丁目から8丁目までの自治会長に入っていただいております。基本的には小曾木地区等については今回の委員会のメンバーとしては入ってございませんので、基本的に成木地区についての公共交通の検討をしているという状況でございます。次にいわゆる新たな公共交通のための事業者さんということですが、今ご指摘があったように、色々な運行というものが考えられると思います。ただ、今の段階で、こうした運行形態でというようには定めてございませんので、少し幅広くとらえて、要は地域が求める運行が可能な事業者さんを求めていきたいと考えております。

○ 座長

よろしいでしょうか。まずは成木地区でということで、ほかの地区に関しては、別途の場合もあるし、あるいは拡大する場合もあると思っております。それから運行形態ですが、先ほどご提案がありましたNHKでご紹介いただいた、こういうのも一つのあり方としてあるのかなと思っております。この中でご検討いただくことかなと思っております。ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それではこの資料にまだ続きがありまして、9ページですか、この説明を事務局からお願いします。

○ 事務局

(資料3の参考1の説明)

○ 座長

路線バスの動向について、参考ということでご説明いただきましたが、只今の点について

ご質問いただきたいと思うのですが、その前に事業者さんがいらっしゃいますので、事業者さんの方で補足があればいただきたいのですが。大丈夫ですか。では今こういうことで検討いただいているということでもありますので、なにかご質問はございますでしょうか。この資料の12ページについている参考3ですが、この協議会はこの法律にもとづいて動いているわけですが、これが一部改正されまして、下の方にある地域公共交通再編事業というこのあたりが少し強化されたとは私は認識しているのですが、間違っていたらご指摘いただきたいと思うのですが、その上にあるような公共交通ネットワークの再構築の具体的内容という、小さい文字で書いてあるのですが、既存路線・ダイヤの見直し、新たなサービスの導入等を記載と書いてあり、この会議では路線バスも含めて議論してきておりましたので、すでにやってきているのですが、これからもこのあたり事業者さんと密に連携を取りながら、地域の足を守っていくということをしていただきたいとは私は思っている次第です。この点よろしいでしょうか。ではご意見ご質問ございませんので次の議題に移らせていただきます。

(4) 青梅市公共交通ガイド改定について

○ 座長

それでは「協議事項(4)青梅市公共交通ガイド改定について」です。よろしくお願いします。

○ 事務局

(資料4にて、青梅市公共交通ガイド改定について説明)

○ 座長

意見をいただいた方々の意見にもとづき修正を加えて本年度版を作成しているということです。これに対して皆さんからご意見ご質問ございますでしょうか。

○ 委員

前回これを出してもらって、転入者にアンケートを取ったということで、その時にお願いしたのは、アンケート結果で字が小さいという方が50%いたもので、それを踏まえて参考意見として出しているわけですが、結果を見ると前回と比べてやや見づらくなった部分があります。時刻表の中が。それと気になるのは、紙面サイズの変更は予算的に困難ということで、どの程度検討されてどの程度の差が出たものか検討結果を知りたい。それから下地がグレーになっていますが、これを白にできないものかどうか。2月～3月ごろですか、青梅市の地域福祉計画の中でも、平成34年には高齢化が進んで65歳以上が32%になるという状況があるので、いわゆるお年寄りの方が多くなるのです。そういった面で行くと部分的にでも大きな字にできないかということ、私が考えたのはこれはA3なのでもう1枚A4を足して三つ折りにして、白黒でできるものは無理にカラーにしない方がコストが下がるのかなと思っております。

○ 座長

検討のプロセスについてその辺りのご回答をお願いします。

○ 事務局

始めにこの紙面サイズについてのご質問でございますけれども、なるべく分かりやすいようにという中で、やはりカラー印刷の方が色分け等ができて分かりやすいという判断をしたところでございます。この紙面のサイズを変えて大きくしていこうとした場合には、予算的にも倍くらいの予算がかかってしまうということになったところでございます。そうした中

で平成 26 年度については、今年度の限られた予算の中で印刷をとということでしたので、このサイズをこのままということ判断をさせていただいたところでございます。また、文字等の大きさにつきましては、掲載内容が多様になってございますので、難しい部分もあろうかと思いますが、できる部分があればそうした変更をして、最終的には印刷にかけていきたいと考えているところです。

○ 委員

今回はやむを得ないと思いますが、次回改正される時に検討してもらいたいのは、あまり何色もカラーを使わないで同系色のカラーにしていけば、色の数は数えていないのですけれど、なるべく統一したカラーにした方がコストダウンはできるのかなと考えておりますので、これを参考にして今回でなくその後改正がある時に検討してもらえればと思っています。

○ 事務局

ただいまご意見いただきましたように、これも初めて作って 1 回目の改定という事でございますので、今後ともそうしたご意見を参考にしながら、できる限りの対応をするなかで、修正等を行ってより良い物にしていきたいと考えております。

○ 座長

よろしいでしょうか。盛りだくさんな内容が入っておりますので、どうしても小さな文字になってしまうところもあるかと思えます。今いただいたご意見は色を使いすぎるというのも確かにあるかと思えますし、場合によってはコストダウンになるかもしれません。何色刷り、3 色刷りくらいにすると、もしかしたらコストダウンになるのかなと思いつつ聞いておりましたのでご検討お願いします。そのほかいかがでしょうか。ご意見ご質問ございますか。これはイメージでこれから印刷にかけるといことですね。もしここで何か一番のミスとかあればすぐ修正しなければいけないのですが、大丈夫でしょうか。ではもし微修正、あまり大幅に変えると遅くなってしまいますので、早く出したいというのがありますから、お気づきの点があれば、個別に事務局へご意見いただければと思います。可能な限り反映して印刷へまわしていただきたいと思えます。よろしくお願いします。では、次の議題へ移らせていただきます。

(5) サイクル&バスライドについて

○ 座長

(5)のサイクル&バスライドについてです。事務局より説明をお願いします。

○ 事務局

(資料 5 にて、サイクル&バスライドについて説明)

○ 座長

自転車との連携を深めて、公共交通活性化のひとつの策としてのサイクル&バスライドですが、本件につきましてご質問ご意見ございますでしょうか。

○ 委員

私の住んでいる黒沢のところなどは、山坂を越え、トンネルを越え、人が全然いないような坂道を越え、それでも 2km とか 1km とかというような所なのですが、その辺のところと、例えば今言われた今井とかの比較というだけが出ているような気がするのです。その辺はどういう解釈の上でこういうものを作っているのですか。例えば青梅坂トンネルを越えて、あ

の辺のことは見たり歩いたりしたこと、市の方はしたことがありますか。その辺のところの比較なのです。

○ 座長

よく平坦な所と坂の所というのは、色々な所でも議論になるのですが、そのあたりいかがでしょうか。

○ 事務局

青梅市の公共交通空白地域というのは、確かにいまご指摘のような所もあって、そういうところの状況については、市の担当課としても認識をしているところでございます。ただ、今回このご提案をさせていただいた、サイクル&バスライドというシステムを導入する地域としては、他の自治体などで取り組まれている事例を見ていくと、この地域についてサイクル&バスライドの導入が適しているのではないかということで検討したということでございます。

○ 座長

今回サイクル&バスライドの対象ということで、むしろ坂がない方が自転車に向いており、基本計画にも書かれている。ここは基本計画の地域とほんの少し外れたような所ですから、自転車と連携してうまくやってみましょうということです。今ご質問があった点に関しては、先ほども申し上げましたけれども、他の地域でもこのような議論はあるのですが、そういった坂の状況だとか、バリアですね、川だとかこういったものがあるとか、そういった状況を勘案して、そういった所が空白地域の定義から外れるけど、公共交通を入れていこうというようなことを考えているところもありますので、そこはまた別に議論をしていきたいということも思っている次第です。

○ 委員

私どもがいつも言っている黒沢2丁目という信号に、柳川というバス停があるのですが、あそここのところが現実に、今のことをずっと長い間やっているわけです。バス停については、学童がバス通学していますので、柳川のバス停には屋根つきの、それは地域の人達が私費を投じて、30人位座れるような大きなバス停を作って、もう30年くらい前に作ったのですが、そこまでくるのに、学童も含めて大変だということで、小曾木街道の橋の向こう側に、以前、NTTの交換所があった所を借りまして、そこに自転車を置いてもらっているのです。地域だけで長年やっているのですけれど、そういうことを市でご存知ですか。例えば利用料とかは、長い間地域の人達が手銭を払ってやっているのです。今、この難しい言い方をすれば、遠くの方だけ平らな所だけはこうしようと言っているのだけれど、現実にそれをずっと実施している所があるのです。そういうところがあることを知っていただければそれで結構です。

○ 座長

そのような事例があると、地域でやられているというのは、非常に良い事例だと私は思いますので、むしろ地域でそういうことを積極的に進めていただくのは、どんどんやっていただいて、そしてそういったものも参考にしながら、地域との連携を取りながら他の地域でもやって行きたいということかと思っております。もし場合によっては、そここのところの整備が必要であれば、改めてサイクル&バスライドのこういった施設等を、今後作っていくとい

う話になるかどうかは別ですが、また市の方でも事務局の方でもご検討いただければと思います。いかがでしょうか。

○ 事務局

大変貴重なご意見いただきました。今回ご提示したのは、基本計画にもとづいてこういう所ということでのご提案です。今いただいた黒沢等についても、合わせて今後検討していきたいと存じます。

○ 座長

よろしく願いいたします。そのほかいかがでしょうか。

○ 委員

質問させていただきたいのですが、地理に詳しくなくて申し訳ないのですが、鉄道の駅に2キロ圏ということなのですが、八高線というのはあまり考慮する必要はないということなのでしょうか。この金子駅というのは2km位ですか。利用しづらいことがあるのでしょうか。

○ 事務局

青梅市さんの計画ということで、青梅線の駅に出る方向ということだけで今回考えて、青梅線の駅から2km圏ということでやっておりました。実態として金子駅の本数が少ないということもございまして、青梅線の方のところだけ着目しております。

○ 座長

今のところ私も実は気になって、この資料だけ見ているといいのですが、あまり書かれていないので分からなかったのですが、(2)の空白地域の方々が実態は金子駅の方に行ったりすればあまり意味がない。バスでこちら側の小作や河辺の方に来ているのであれば、ということなのですが。このところも今井市民センター前が候補になっていますが、ここは既存施設があるという条件もあるのかなと思うのですが、先ほどありました路線が重なっているということから言えば、もう少し西側の方がいいのかなと、七日市場というのですか、このあたりがいいかなと思いつながり見ていたのですが、このあたりはいかがでしょう。

○ 委員

地域の住民を集めていただいて、住民の声を聞いて、そこで討議をやった方がいいのではないかなと思います。

○ 事務局

今回ご提案したのは事務局で検討した中でこのエリアがどうでしょうかというご提案です。今ご意見をいただいたことについて、さらに検討して地域をさらに絞っていきたいと考えてございます。

○ 座長

今のご回答から言えば今回これで確定ということではなくて、今後さらに検討していくということでよろしいですか。ここを中心に検討していきたいということかなと思っています。そういうことでよろしいですか。今回このようなことを少し検討し始めたということで、今後住民の利用者の動向だったり、あるいはバス停の周辺の状況なども関係してきますので、そこら辺も踏まえて適地を選定させていただきたいと思っております。もう一点だけ、先ほどと関連するのですが、住民がどちら方向へ向いて行っているかというのも重要でして、後ろ方向へ行くといくら作っても乗ってくれませんので、そこら辺も踏まえて住民が向かってい

る方向へ近づいて行く方向へのバス停を選定いただければと思います。よろしくお願ひします。そのほかいかがでしょうか。引き続き事務局で精力的に検討していただくということで、よろしいですか。ではこの件は以上とさせていただきますので次の議題に移ります。

(6) 居住者MMについて

○ 座長

(6)居住者MMについてです。よろしくお願ひします。

○ 事務局

(資料6にて、居住者MMについて説明)

○ 座長

モビリティマネジメントという仕掛けですが、13ページのこういうアンケート、自分で行動を振り返って公共交通の利用をするという前提ならこんな使い方ができますということを書きだすことで意識を公共交通に向けてもらおうとこういうことがあります。それに対して5~7ページあたりで、地球環境とか健康だとか交通事故、公共交通を利用するとこういうメリットがありますというようなことを意識してもらいながら公共交通を利用してもらいましょうと、こういうことの仕掛けです。ではこの件に関して、ご質問ご意見ございますでしょうか。では私の方から、今回成木地区ということで、先ほど資料3基本計画推進状況について、検討委員会を成木地区では作られているのですが、第1回目のアンケートもこれを活用して委員会の中で検討されたということをお聞ひしておりますが、今回に関しても連携して進めていくのかどうかこのあたりを教えて下さい。

○ 事務局

今日こうして提案をさせていただきます、今日のご意見等も参考にさせていただいたのち、次回以降の成木地区の検討委員会において、この話もさせていただく中で、第1回目と同様にできれば検討委員会の方との協力をいただき、このアンケートについても取り組んでいきたいと考えてございます。

○ 座長

ぜひ紙だけのやり取りではなくて、やはり人と人とのコミュニケーションでというのが結構ポイントになってくる場面もありますので、この委員会は自治会長さんらに入っていると思いますが、多くの方を巻き込むような形で、人と人とのつながりでやっていただければなと思った次第です。よろしくお願ひいたします。そのほかいかがでしょうか。

○ 委員

座長のコメントと概ね同じなのですけれど、成木地区の交通に関するアンケートはすでに行っておりまして、この結果をぜひ活用してうまくやっていただけるといいかなと思います。コミュニケーションアンケート2回目で、全戸配布ということだと思うのですけれど、どういう方に転換してもらおうと思っているのか、1回目の調査を見ますと河辺、東青梅、新町に行っていて、主に買物、病院が多かったかと思うのですけれど、こういった結果をここに使われてこれを考えられたのか、せつかく1回目アンケートをやっているのです、そここれの関係というのがどのようだったかを教えていただきたいと思ひます。なぜそのようなことをお聞ひしているかという、そもそもMMはなるべくターゲットを明らかにして、どうアプローチしていくかというところをきちんとした方がいいですので、今回どういう方をターゲッ



トに想定してどのように転換してもらおうと思っているのか、教えていただきたいと思っております。

○ 事務局

前回のアンケートでは、行先としては河辺とか東青梅、新町が多かったのですが、その目的として買物と病院というのが非常に多かったということがございまして、そういう方は毎日行っているわけではなくて、週に1回とか2回という頻度でございますので、ターゲットとしましては、買物ですとか病院に行かれる方で、月4回行くとしたら3回車で行ってもかまわないのですが、1回くらいバスに乗って行ってみませんかというようなねらいで、2回目のアンケートを考えています。

○ 委員

それで2回目が終わった後に、この次は何か想定しているのでしょうか。それとも検討委員会の方に情報を渡して、検討していただくという流れになるということですか。

○ 事務局

2回目の結果で、どのくらいの方がバスを利用できそうですねというのがもし分かったとすれば、実際このくらいの方が考えていましたというのを報告しまして、次の年になりますとまた今後の検討があると思っておりますので、そういう検討の中でアンケートの結果等を使っていければと思っております。

○ 座長

ターゲットを絞ってというのは結構重要な点かと思いますが、絞るのは重要なのですが、買物だとか通院だけに限らず、通勤だとかも両方ターゲットにした方がいいのではないかとちょっと思ったのですが、その辺りはいかがですか。アンケートがもしかしたら違うのか、あるいは同じで行けるような気もしますが。

○ 事務局

質問の中で通勤の方も対象にしているということで、例えば飲み会がある時に使ってみませんかとか、そういうような事を入れたりして、ターゲットを追加できると思っております。

○ 座長

はい、そのあたりを少し整理いただいて、まだ実施までに期間がありますので、ご検討いただければと思います。ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

○ 会長

梅76につきましては、成木地区の半分が該当するわけでありまして、13ページの図を見ますと、具体例として11:20に出発して11:50到着、そこまではいいですが、今度帰りになりますと18時台ですね、それまで梅76は1本もありませんので、帰りはどうするのかなということです。朝の通勤は、普通のサラリーマンの7時台のバスがありませんので、8:10ごろ上成木のバス停を出発して、それでは会社に間に合わないということです。この質問ですとなかなか地域の人に受け入れ難いかなと私は考えています。よく地元の検討委員会と打ち合わせをして、質問内容を考えていただいた方がいいかなと私は思っています。

○ 座長

時刻を見ずに通勤もというお話をしまして、申し訳ございません。そのあたりはぜひ、検討委員会のメンバーの方々等々と事前に調整をして、いくつかシミュレーション的にやっ

いただいて、それでやはり通勤では無理だということであれば、昼間の買物等の利用を中心にターゲットにしていただければと思います。13ページのアンケートは往路しか書いてありませんが、復路も書けるようにするのですか。

○ 事務局

行きだけでなく、帰りも必要と思いますので、行きと帰り両方書けるようにしたいと思います。

○ 座長

ここはもう少し、充実を検討していただきたいと思います。そのほかいかがでしょうか。

○ 委員

今のコメントをお聞きして、確かにこれを見るとなかなか難しい。実際どう使えるかということのある程度考えたところで、コミュニケーションアンケートをぜひ実施していただきたいと思います。

○ 座長

私もまさしくそう思います。少しシミュレーションなどをして可能性のあるところの使い方を念頭に置いて、アンケートをしていただければと思います。そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ではもし何かお気づきの点等あれば、少し時間がありますので、事務局へ直接ご意見をいただければと思います。

(7) 公共交通空白地域等実証補助について

○ 座長

では続いて(7)公共交通空白地域等実証運行補助についてに移ります。では事務局から説明をお願いします。

○ 事務局

(資料7にて、公共交通空白地域等実証運行補助について説明)

○ 座長

積極的にこういう制度を、実証運行ですか、入れて空白地域の改善に取り組んでいこうということだと思いますが、いかがでしょうか、この件について何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。私もぜひやって欲しいなと思うのですが、実際に具体的になると、難しいなと思っている所がありまして、今、スーパーだとか福祉施設の無料送迎バス等が走っているのは、どうしても人が多いところを走っているのではないかと思うのですが、そこではなくて空白地域へ回って欲しいと、それに対して促すためのインセンティブとしてそこの市場調査ということでの試行運行をして欲しいと、こういうことだと理解したわけですが。実際そこに入ってきてくれる事業者さんがいるのかどうかということのもまず気になりますし、それに対してどのくらいのインセンティブとしての経費の補助ができるのかということですね。そこは事業者さんにとってみれば、経費とプラスになる部分との収支の関係だけではないかもしれませんが、そこが一番気になるのかなと思って聞いておりました。感想的なことばかり述べますが。それからまた当然こういう事業が増えて来ると、既存の公共交通との競合というのも出てくる可能性もありますので、無料ですので、あまり活性化するのもよくないかなとも思ってございまして、この扱いはぜひ積極的に入れていきたいとの思いもありますが、難しい面もあるのかなと。感想のみで申し訳ないのですけれど、そう思っているとこ

ろです。皆さんからのご意見はいかがでしょうか。

○ 委員

感想も含めてなのですが、スーパーですとか福祉施設が対象になっているということなのですが、具体的にどうなってくるのかというのが、見えにくいかなと思いました。実証運行でそのあと本格運行となると、交通事業者でない方が本格運行というのはどういう姿なのかというのが分からなかった。例えばスーパーですと、公共交通空白地域にお迎えに行くのは補助対象ですが、公共交通空白地域に逆に移動販売などで向かう場合には補助にならないのでしょうか。これは同じことだと思いますので、その辺の整理もきちんとされた方がよろしいのではないかと思ったところです。

○ 座長

続けてどうぞ。

○ 委員

(2)制度目的の3つ目のところで、「マイクロバスなど既存資産を保有する事業者に、公共交通事業のノウハウを取得させ、新たな地域公共交通事業者として育成する」とありますが、新たな交通事業者をここで創設していこうと、こういう意向であるという捉え方なのでしょうか。

○ 座長

ここの部分を少し詳しく説明いただけますでしょうか。

○ 事務局

この目的の中で、確かにそうした基準というのがございます。ただこれだけを目的とするということではなくて、制度としてなるべく幅広く、公共交通空白地域の解消を図るための事業者を、どういう形でか見つけていけないといけないという中で、幅広く対象とさせていただきたいという意向ですので、必ずしもこの1点だけを目的というふうにするものではございません。

○ 座長

目的はその上に書いてあるものが主なものかと思うのですが、新規参入も期待するという感じなのかなと思っているのですが。

○ 委員

それにしても一番下の補助対象が、あまりにも小さすぎるのではないかと。いろんな投資をしなければいけないのであって、マイクロバス1台あれば事業ができるみたいな、そういうイメージで捉えられたとしても、それは本当に安全を考えた時に、運行がそれでできるのかということはもう少し考えなければいけないのではないかと強く思います。

○ 座長

おっしゃる通り、事業者さんの安全管理は徹底されておられることから、新規参入はマイクロバスがあればすぐできるということではないと思いますので、その辺のノウハウもしっかり蓄積してもらおうということかなと思っております。

○ 委員

今、座長からも念押しがありましたし、こちらの1ページの(4)補助条件に、「既存公共交通の利用者の逸走を招く恐れがないこと」とこちらに書いてあるので、バス事業者としては

安心いたしましたけれども、他の地域や自治体の方で、こちらはコミュニティバスではないのですが、例えば税金を投入したコミュニティバス、例えば100円バスが既存の私どもの元々走っているバス路線に入って来られて、お客様がそちらの方に取られて、非常にこちらでも苦戦して、結果的に既存の路線バスの減便をかけて非常に収入が悪化して、大変な思いをしたというようなケースもあります。もし、こちらの方でやられるようでしたら、こちらにも書いてある通り、既存のバス路線は、路線を維持するのも結構大変な思いをしていますので、そちらの方にもお気づきいただきながらやっていただきたいなと思っておりますのでよろしくお願い致します。

○ 座長

その辺り、私も非常に気になっておりますので、できればうまく連携ができると本当はいいなと思うのですが、バス停までの送迎とかこういうことができる就非常によいとは思っているのですが、そういうことも含めてぜひこういう事業に入っただけ、運行していただける事業者さんとは、そういうことも含めて検討いただければと思います。よろしくお願い致します。そのほかいかがでしょうか。

○ 委員

この運行補助の話と直接は関わらないのですが、質問は、先ほどお話があった、バス停へのアクセス改善みたいのを地域でやりたい時のお金を、もし出すとしたらこれは何か別のフレームがありましたでしょうか。今座長からもお話がありました、アクセスみたいなものを地域でやりたい時には、例えば先ほどのバス停を地域でお金を出して改善しましたとか、自転車置き場を借りてますというような話も、もしやりたいという時には、これではもちろんだめだと思いますが、別のフレームが何かありましたでしょうか。

○ 事務局

現時点では、そういうものはございません。

○ 座長

サイクル&バスライドはありますので、駐輪場に関してはできますね。それからそのほかのバス停の上屋等はこの中にはなかったですね。ないと言いつつも、利用促進につながるものであるなら、もしかしたら可能かもしれないなと思いつつも聞いておりましたので、具体的な記述はないにしても、もしそれが利便性の向上につながるのであれば、検討していてもいいのではないかと考えております。ご検討いただければと思います。

○ 委員

今、バス会社さんの方がいろいろ心配しているようなのですが、競合して手を引いたという話も出ていますが、(5)補助対象で燃料費の補助ということになっていますね。その前に無料で輸送すると、いわゆる丸抱えで人件費も燃料費もバス自体もみんな持って下さいということですから、どのくらい補助するかという上限を設けて示さないと、わかりづらいような気がします。例えば人件費とか燃料費含めて1,000万円かかるといったとき、どの程度の上限で補助してくれるのだから、例えば500万円だったらいくらとか、300万円であらうとか、そういうことで示すことができないと、新規参入の方はちょっと考えてしまうのではないかと考えております。

○ 座長

そのあたりの詳細について、いかがでしょうか。

○ 事務局

確かに、その補助対象の経費の所は、課題だととらえてございます。市の考え方としては、事業者さんにそうしたことに目を向けてもらうような、まずはきっかけづくりとして、こういう制度を創設したらどうか、というような考えでございます。実際には経費に、どれだけ補助が出せるかということについては、市の財政状況等もございますので、それについてはこれから検討していかなければいけないと考えてございます。

○ 座長

これをいつから実施するかということも説明いただいて、それまでに詳細を詰めて規約等を作っていくのかなと思っているのですが、そのあたりもお願いします。

○ 事務局

今回、このようなご提案をしてご意見をいただきたいということで、今後の予定等につきましては、当然補助を出すという形になれば予算等もかかってきますので、議会等の御承認もいただかなくてはいけないということがございます。時期についてはそういった意味で、今日ご意見をいただく中で、この制度の中身も見直していかなくてはいけない部分もありますので、今時点でははっきりと時期を示すことはできません。

○ 座長

少なくとも来年度の予算計上ということですから、来年度以降ということですね。今いただいた上限の話、経費の一部補助する上限の話とか、一部とはどの位なのかとか、ここに「燃料油脂費など」の「など」には何が入るのかとか、結構細かいところで気になるものがいっぱいありますので、こういったところは今後予算との関係もありますが、予算がいただけるのであれば詰めていくということかと思っております。

○ 委員

先ほどのNHKのクローズアップ現代に出ていた話ですが、こういうところの町役場で企画しているということは、当然事業者さんが言われるとおり、交通事業者の邪魔をしないような形でいろいろ考えてやっているのだと思うのですが、そういうところのホームページがあるようですから、そこでいろいろな情報得て、そういうものを参考にすることは一番大事なことだと思います。皆が丸く納まるということが一番いいことだと思うので、事業者さんの邪魔をしないように、また事業者さんに打撃を与えないようにご理解をいただきながら、公共交通空白地域をどうするかということだと思うので、例えば私が言ったのは、黒沢にはいくつか老人ホームがありますが、そういうところのバスが常に空いているバスもあります。失礼な言い方になるかもしれませんが、都バスは回送だけが通っている場所なのです。そこには路線がないので、そういう所はそういうものを仮に試験的に走らせてみるのも一考かなと思っているのですが。そういう所で、こういう人たちがどうやって事業者と行政が話し合っているのかということ、情報を得るのが一番大事なことだと思うのですが。ぜひ私はそうしていただきたいと思います。

○ 座長

全国に多数の事例、NHKの紹介の事例もありますし、他にも事例がたくさんありますので、そういったものを調べていただいて、成功事例だけでなく失敗事例も調べていただくと

いいのではないかと考えておりますので、調べていただければと思います。私からもう1点だけ、この件もやはり先ほどの地域の検討委員会ですね、こういったところとセットでできればなと思っておりますので、ぜひそういった所から意見が上がってきて、ここを走って欲しいとかいうことが上がってくれば、それとこちらのスーパーとか福祉施設と協議をしていくということがいいのかなと思っておりますので、ぜひ別々ではなくて一緒に考えていただきたいと思っております。そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それではこの件に関しては引き続き検討をよろしくお願いいたします。それでは(7)まで協議事項終わりました。他に皆さまから何かご意見ありますでしょうか。

○ 委員

一つお礼を申し上げたいことがあります。この前のこの会議の中で、黒沢の方にバスを走らせて欲しいということの続きの中で、道路の下水のふたがうまく直ってないので、ヒールで歩く方が困っているという事をお話し申し上げたあと、市や都の関係の方がご協議いただきまして、早束手当てしていただきまして、全て完璧とは言い切れないかもしれませんが、90%以上良く直していただいたことを感謝申し上げます。色々ありがとうございました。

○ 座長

どうもありがとうございました。その他何かありますか。

○ 委員

今年度の1回目ということもありますので、できれば今後の予定、スケジュールを、今年度はどのくらい協議会が開催されるのか、次回の予定ですとか、基本計画を進めているなかで、順調に進んでいるものと、まだ遅れているもの、例えば公共負担の問題ですとか、既存路線の見直しの問題、既存路線の見直しには3つの既存事業者の乗降データですとか、調査も行っておりますが、もう2年経ってしまっております。もうダイヤも変わってきてしまっておりますので、本当に既存路線の見直しに取り掛かろうとすると、もう1回調査が必要となるのではないかと感じております。ですから、具体的に、現実的に、どのくらいで着手して、どのくらいの所で既存路線の見直しをやるのか、そのところのスケジュールをできれば次回以降やっていただきたい。

○ 座長

はい、ありがとうございました。

○ 事務局

今年度、第1回の開催が遅れてしまいました。申し訳なく思っております。御指摘の公共交通基本計画にもとづき、やっていかなければならない課題もございます。成木地区でも検討がなされている状態でもあります。事務局としては年度内に1回ないし2回は開催させていただきたいと思っております。開催時期につきましては、会長、座長などと調整して決めさせていただきたいと存じます。長期的な取り組みにつきましては、いただいた意見を踏まえ検討させていただきます。

○ 座長

今年度につきましては、あと1回か2回ということで、その間に今日御提案のあった内容について御検討いただき、バス路線の再編については、じっくりと検討していくことだと思います。事務局とコミュニケーションをとって進めていただければと思います。その

他いかがでしょうか。本日の予定の検討事項すべて終わりました。御協力どうもありがとうございました。

#### 4 閉会

轟座長さん大変ありがとうございました。いつになく活発な御意見をいただきました。今年の4月にバスの減便がありまして、一般の市民にまで周知がいきとどかないことで当初は市民に御不満がありました。成木地区の検討委員会のMMにつきましても、地域にも不満があるようですので内容を十分に検討していただき、お願いしたらどうかと思います。サイクル&バスライドにつきましては、黒沢ではもうやっているということでもあります。実施にあたっては地域住民と十分に検討して実施していただければと思います。以上をもちまして、第14回の青梅市公共交通協議会を閉会とさせていただきます。